

超音波検査実績(体表領域)

超音波診断報告書抄録

受験者氏名 甲状腺 太郎

抄 録 番 号	2	年 齢	56	性 別	女性
検 査 年 月 日	2020年 〇月 〇日			疾患コード	A-2
施 設 名	日本超音波医学会病院				
[超音波検査所見]					
<p>甲状腺： サイズ：右葉 15×13×52 mm、左葉 11×8×50 mm、峡部 2mm 腫大：なし、萎縮：なし、表面性状：平滑</p> <p><右葉> 嚢胞(-) 結節： 大きさ 14×11×30 mm、長軸方向に長い扁平な形状で、辺縁は一部凹凸不整。充実性で、内部エコーは低、一部無エコー域（嚢胞成分）を伴う。結節内部の充実部分に複数の点状エコーが散見される。境界部低エコー帯(-)。周囲への浸潤所見(-) カラー Doppler：辺縁および内部に拍動性血流を認めた。 エラストグラフィ：全体的に緑色で一部辺縁に青色を認めた。</p> <p><左葉> 嚢胞(+)(下極、3mm)、結節(-)</p> <p><峡部> 嚢胞(-)、結節(-)</p> <p>頸部リンパ節：両側に扁平なリンパ節を認める。</p>					
超 音 波 診 断 *	腺腫様結節（腺腫様甲状腺腫）疑い				

抄 録 番 号	2	受 験 者 氏 名	甲状腺 太郎
[主訴・臨床経過・血液検査・他の画像所見・手術所見・考察など]			
[主訴]CEA高値			
[経過]健康診断でCEA14.5ng/mLと高値を指摘され近医を受診。受診先の病院で甲状腺超音波検査を施行され、26×9mm大の内部不均質な結節を認めたため精査目的で当院外来紹介となった。			
[理学所見]触診では、前頸部に可動性良好で柔らかい結節を触知する。			
[既往歴]子宮筋腫 [家族歴]特記すべきことなし			
[血液検査] カルシトニン 482.2 pg/ml (基準値:3.91以下)、サイログロブリン 44 ng/ml、TSH 1.10 μ IU/ml、FT3 3.1 pg/ml、FT4 1.21 ng/dl、抗サイログロブリン抗体 (-)			
[超音波検査]			
甲状腺右葉に長径30mm、内部に嚢胞成分を有する充実性結節を認める。内部に数個の点状高エコーを認める。左葉には嚢胞を認めた。			
[他の画像検査] 造影CT：正常甲状腺より造影効果の弱い腫瘤を認める。一部嚢胞変化を考慮する低吸収域が腫瘤内に認められる。			
[臨床経過] 超音波所見からは腺腫様結節を疑うほか、嚢胞成分を有し点状高エコーを認めるため乳頭癌が否定できず、また今回CEA高値の精査であることを考慮すると髄様癌も鑑別に入れるべきと思われた。これらを鑑別するため、次の検査・精査として穿刺吸引細胞診検査が施行され、その後、手術となった。			
[細胞診] 核が偏在したり、中央部に存在したり、また大小不同である。細胞は孤立散在性または小集塊となっている。また、内分泌腫瘍に特徴的なクロマチンが不均等凝集し、粗大顆粒状となっている。			
[病理診断] 甲状腺右葉切除術施行。 髄様癌に特徴的な紡錘形の偏在した核をもった腫瘍細胞が、島状・索状に配列している。また、アミロイドの沈着が間質にみられる。リンパ節に転移は認められない。			
[考察]			
今回CEA高値で精査となった症例であり、甲状腺腫瘍では髄様癌を鑑別に挙げるべきであった。ただし、当院で施行した超音波検査では、腺腫様結節や乳頭癌を疑う所見であり、診断に苦慮した。また髄様癌に特徴とされる牡丹雪状の粗大高エコーは見られず、むしろ点状に近い高エコーを複数個認めたことも、診断を困難にした理由と思われた。しかしながらこの点状高エコーは病理所見からも間質に沈着したアミロイドを反映したものと推察され、必ずしも典型的な粗大高エコーを示すものだけではなく、また約10%程度に嚢胞を伴うことがあるとの報告もあり、今回のような超音波所見であっても髄様癌は鑑別すべき疾患の1つと考えられた。			
最 終 診 断 *	甲状腺髄様癌		

公益社団法人日本超音波医学会理事長 殿

公益社団法人日本超音波医学会の定める超音波指導検査士（腹部領域）認定試験を受験する基準に十分な抄録であることを認めます。

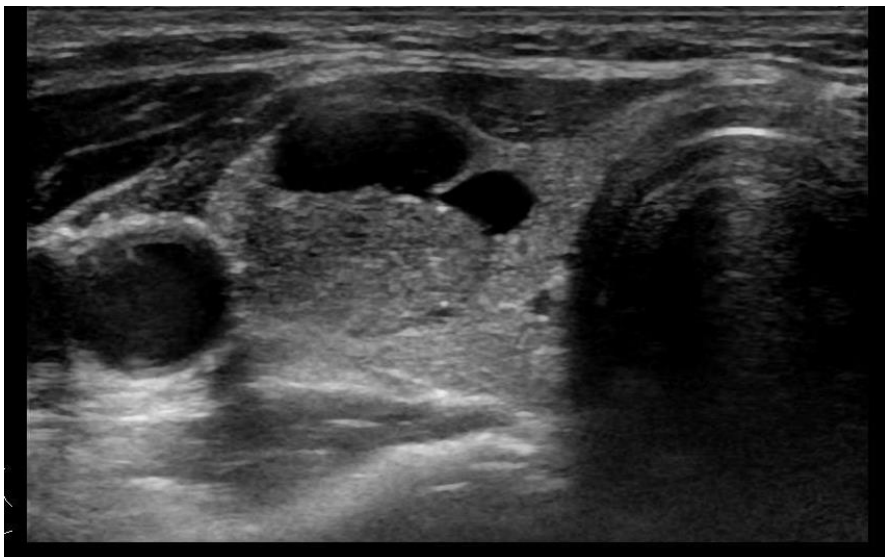
公益社団法人日本超音波医学会
認定超音波指導医または代議員氏名
(自署)

印

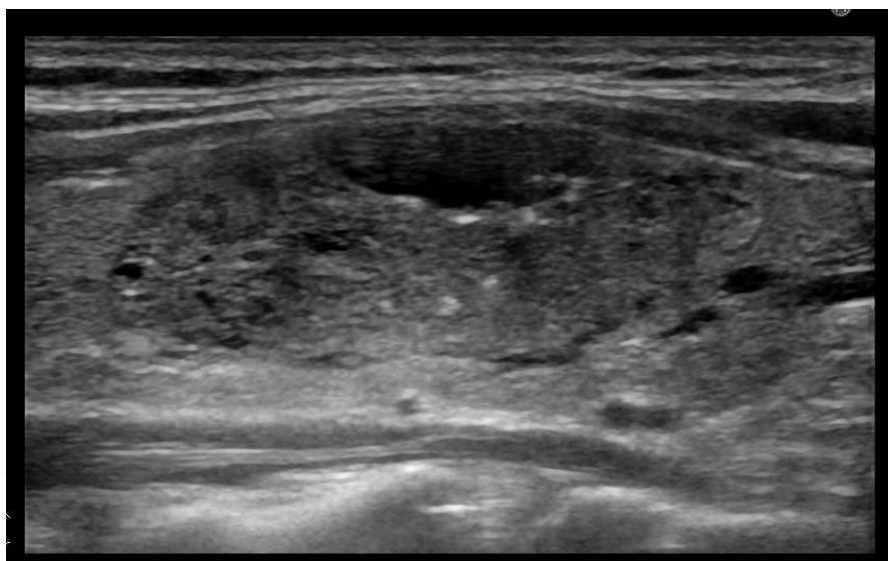
指導医の場合記入してください (SJSUMNo -)

[写真貼付欄]

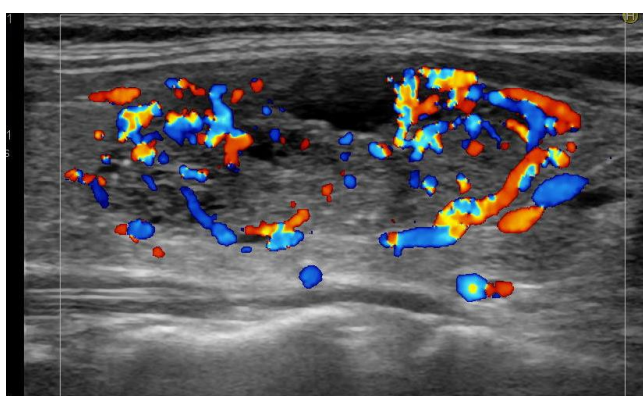
※写真裏面に、受験者氏名・受験領域・抄録番号を付記し、はがれないように貼付すること。あるいは、電子画像をコピー&ペーストで貼り付けてもよい。（写真は1症例につき5枚以内とする）。



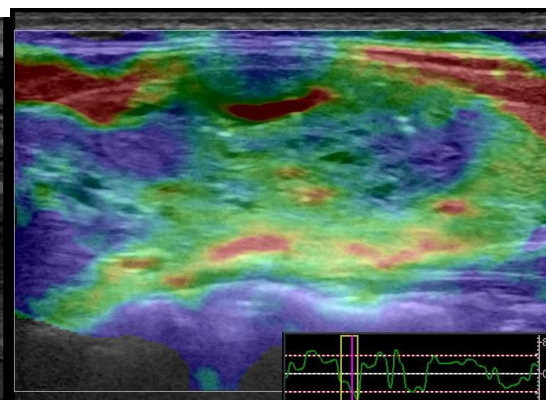
B モード横断像



Bモード縦断像



カラードプラ



エラストグラフィ

[スケッチ記入欄]

※パソコンのドローソフトを用いて作成したシエーマは認めない。

